

若竹

第七十五号



三島由紀夫・森田必勝両烈士追悼五十周年慰霊祭

愛媛県神道青年会

事務局 〒790-0838

愛媛県松山市桜谷町173 伊佐爾波神社 内

TEL 089-947-7447 FAX 089-943-3437

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



年頭のご挨拶

愛媛県神道青年会

会長 柳原 永祥



新春を寿ぎ、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますと共に、各ご社頭のご隆昌を心より祈念申し上げます。

常日頃より、会員はもとより先輩諸兄を始め神社庁及び各神社宮司様方の格別なる御理解御協力を戴きまして、諸事滞りなく遂行できます事を衷心より篤く御礼申し上げます。

ウィズコロナ

昨年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に迫られた一年となりました。マスク着用、ソーシャルディスタンス等、新しい生活様式も定着し、当会の事業も役員会、総会、研修をオンラインで行いました。提案される事業も現地

集合して行う案とウェブ案の二案が提出され、状況に合わせて判断する形になっていきます。令和元年末には東京へ研修旅行に行き、大いに密集して大嘗宮を見学したのが嘘のようです。今年の初詣の対応についても苦慮された方が多かったと思います。

「まあいいか」の撲滅

このような状況下になり「今までならできたのに・・・」と思うことが何度もありました。そして気付いたのは、今まで前に進んでいるつもりだった自分が実は足踏みをしていたということ。昨年しようと思えばできたことを先延ばしにしたが為に、できなくなってしまったことがあり、「まあいいか。」と小さな妥協や気の緩みの積み重ねが大きな損失に繋がることを知りました。メールやラインの未返信や、確認の一言、一本の電話、「コロナが落ち着いたら」なんて都合の良い言い訳、良いことも悪いことも積小為大です。今年の干支の丑のよう、ゆっくり黙々と一歩の歩みを進める。今できることを妥協せずコツコツ続けていくことで、明るい未来が待っています。

令和三年の展望

昨年七年八ヶ月ぶりに総理大臣が変わりました。新政権が描く未来図を把握できれば時代の波に乗ることができます。安倍総理は就任した当時にアベノミクス「三本の矢」を打ち、この影響で株価はおよそ二倍になりました。当時株を始めた人は資産が

増えたことでしょう。菅総理が掲げているのは「自助・共助・公助」。災害時によく使われるこの言葉ですが、まさに当会にもびつたりな言葉だと思えます。まずは自分で解決できるよう努力して、それでも分からないことがあれば青年会の仲間を頼る。役員を経験すれば、自然と連絡する事柄も増え、関係性が構築されてきます。また、注目しているのはデジタル庁の創設です。ウェブ研修にて神社お寺の検索サイト「ホトカミ」の吉田代表を講師に迎え、全国の神主、参拝者にヒアリングを行って分かった参拝者の増える傾向を伺いました。その順番は

①地域外から参拝者が増える

②氏子さんが喜ぶ

③近隣からも増える

とのことでした。一見すると逆の順番のように感じますが、今までの逆で増えた事例は無いそうです。神社も広く情報発信を出来るツールを持つ必要があるようです。

来期について

二期四年間の会長の任期が今年の三月末を以って終了しようとしています。皆様方に支えられ会務を遂行することができました。誠にありがとうございます。来期は四国地区の会長として、斯界を盛り上げるべく、力を尽くして参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。末筆になりましたが、本年が皆さん方にとって幸多き一年になりますことを心より祈念致します。

神道青年四国地区協議会 定例総会報告



【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
上浮穴郡 三島神社
宮 司 佐藤 肇国

去る七月二十八日四国地区定例総会が役員、会員二十二名の参加のもと開催されました。

例年四国四県の持ち回りにて開催されていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためWEBでの開催となりました。WEB総会開催は初の試みであり、議事運営に支障がでるのではないかと心配をしていましたが、滞りなく進み、すべての報告内容において全会一致で承認されました。



会議中の様子

本来ならば今年度は徳島県での開催となっており、四国地区の役員、会員との交流の場

非常に残念でした。他県の神職仲間と肩を並べて会話すると各地方において全く違ったことがあり、これからの自分の糧になることが沢山あります。愛媛県神道青年会として任せられたことの経験だけでなく、様々な仲間と関わりをもつことは非常に大切ではないかと思えます。まだ新型コロナウイルス感染症は終息が先に見えない状況ですが、一刻も早い終息を願うばかりです。

WEB研修会



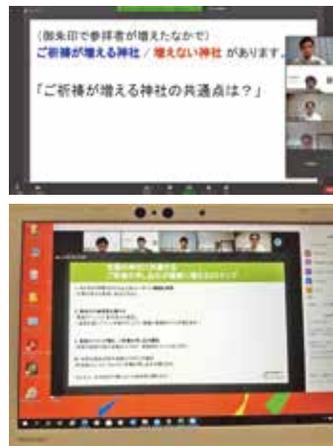
【報告者】
愛媛県神道青年会 理事
喜多郡 三島神社
権禰宜 神岡 史郎

令和二年九月十三日に十四名の参加者のもとWEB研修会を執り行いました。コロナウイルスにより研修会をどのようにしたらよいか模索する中、初めての試みでWEBを使った研修会を開催しました。

今回の研修の内容につきましては「参加者が神社に期待すること、一〇〇年後に神社を残すために」と題し、「ホトカミ」を運営されている株式会社DOTHESSAMURAI代表取締役吉田亮先生を講師に迎え開始しました。「ホトカミ」は誰にでも簡単に登録がで



WEBとはいえ姿勢も正しく！



WEB上でもたくさんのことが学べます！

き、各お社の情報発信ができます。多くの参加者がサイトを利用し神社の参拝、御朱印、観光など行きたい神社を検索し利用しています。実際に「ホトカミ」に神社を登録し参加者が増えたお社もあります。神社を守り継承していくために私たちにできること、また、参加者が何度も足を運びたくなくなるような、そんなお社にしていきたいと思いました。

WEB上でしたが滞りなく開催されました

参拝啓発ポスター発送作業



【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
松山市 日招八幡大神社
禰宜 玉井 正祥



役員揃って久しぶりの作業

九月十五日(火)

午後一時より愛媛県神社庁に於いて、令和三年参拝啓発ポスターの発送作業を会長以下十名で行いました。

昨今の新型コロナウイルスウィルス感染症対策のため、役員会もウェブ開催が続き、一堂に会す

るのは一月の新年研修会・互礼会以来、実に八ヶ月振りとなりました。作業時にはマスク着用は勿論のこと、各自一定間隔で距離を取り、黙々と作業に取り掛かりました。作業後には前期に設置した防災倉庫の整理作業も実施しました。画面越しに役員会は開催していたものの、やはり面と向かえば自然と会話も弾みます。気がつけば神社

庁玄関前で、各々近況報告や感染症対策の話など：：暫し歓談を行ってから三々五々帰路に着きました。

例年とは異なる中でポスター製作から発送まで無事に事業を進められたことに感謝し、ポスターを通じて氏子崇敬者への啓発のお役に立てればと願う次第です。

ポスターが出来るまで

さて、今期の担当理事として、どのような形でポスターを製作するか、色々悩んだ結果、腕はさて置き写真が趣味なものですから、自分で写真撮影を行い素材にすることを決めました。次は被写体をどうするかという所で、昨年度は娘達に、今年度は妻にも登場してもらおうことになりました。

梅雨の晴れ間を狙って、本務神社の拝殿前で家族達と、あーでもないこーでもないと苦心しつつ、娘達の機嫌も取りつつ撮影すること百枚強。なんとか様になる写真を撮ることが出来ました。



愛用しています♪

ポスターの構成にあたっては、勤務先の営業部の先輩に力を貸してもらい、幾つか構成案を作成し、役員会の決議を経て、印刷と発送作業と駒を進めて行くことが出来ました。

今期のポスターは、長期の屋外掲示でも色褪せしにくいよう、耐光インクを使用しております。製作に尽力いただいた勤務先のK先輩、細かな注文に添えて戴いた平和印刷工業様にこの場を借りて御礼申し上げます。

お詫び

既報の通り、令和三年参拝啓発ポスターの掲載内容に誤りがございました。左記の通り訂正させていただきます。

【誤】五歳の女兒 ↓ 【正】五歳の男児

関係者の皆様には御迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

なお、訂正シールを十一月上旬に各宮司様方に郵送致しました。万一、不足や追加の希望がございましたら、予備がございますので、左記連絡先までお知らせ願います。

連絡先・〇九〇一六二八〇一六一九
メール・m-tamai@gem.e-catv.ne.jp
(玉井)

境内へのご掲示をお願い致します！

三島由紀夫・森田必勝 両烈士追悼五十周年慰霊祭



【報告者】

愛媛県神道青年会 理事
松山市 伊豫豆比古命神社
権備宜 鍛谷 僚

木枯らしのごとく落ち葉を散らす風の冷たさが身に染みる頃になりました。去る令和二年十一月二十五日午後五時より、愛媛県護國神社東参列殿にて奉仕者八名、十六名のご参列を頂きまして三島・森田両烈士慰霊祭を斎行いたしました。

本年は両烈士の自決から五十年の節目であり、なおも止まぬ改憲への志を新たに、以て両烈士の御霊を慰めるべく当会会長柳原永祥以下会員の奉仕による祭儀となりました。臨席を賜りました神道政治連盟愛媛県本部本部長曾我部昭一郎様、愛媛県護國神社額田照彦様、日本会議愛媛県本部事務局長越智敏雄様、愛媛県議会自由民主党神道議員連盟事務局長三宅浩正様のご参列、また衆議院議員塩崎泰久様、同村上誠一郎様、参議院議員山本順三様、前参議院議員井原巧様より祝電を頂き、心一つにして祈りを捧げました。

本来ならば盛大に臨みたいところでした

が、しかし昨今の新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、例年とはいくらかの変更を伴う祭典を斎行しました。奉仕参列問わず消毒とマスク着用は必須となり、飛沫要因になり得る儀はやむを得ず省略し、例年の講演もご遠慮を頂きました。それでもなお両烈士を、本邦を憂う人はおのずから老若男女問わず参列され、その志が種となり広がりに続けている事を確信しました。

末尾となりますが、ご参列頂きました皆様に感謝を申し上げ、また新型コロナウイルス感染症鎮静化を祈念致しましてご報告とさせていただきます。



三島・森田両烈士追悼



祭典後の集合写真

ご案内

新年研修会並びに臨時総会

【日時】令和三年 二月六日(土・赤口)
午後四時より

新年研修会
午後五時四十分より 臨時総会

【場所】吹揚神社

新年研修会演題 「御朱印を身近に」

神道青年四国地区協議会WEB研修会

【日時】令和三年 二月二十四日(水・先勝)
WEB研修会演題

「企業家から学ぶ今後の
神社運営の手掛かり」

講師 株式会社テラムラ代表取締役
有限会社ルートテラム代表取締役
寺村 勉 先生

神道青年四国地区協議会役員研修会・顧問会

【日時】令和三年 六月十七日(木・赤口)
午後四時より

役員研修会
午後六時三十分より 顧問会

【場所】役員研修会 「徳島縣護國神社」
顧問会 「御料理 なつめ」

役員研修会演題
「過疎地域の教化活動」
講師 八幡神社

宮司 野村卓秀 先生

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により開催中止又は変更になりますことをご了承ください。

二人には

事務局長

伊佐爾波神社 禰宜

野口 貴令 (三十六歳)

昭和五十九年二月十四日生



笑顔で迎えて頂きました

今回は青年会副会長(事務局長)の野口貴令さん取材します!

Q. 事務局長の仕事は大変でしたか?

初年度については、四国地区の総会を愛媛で主管し、私の地元道後での開催ということもあり、大変でした。参加した皆さんからは、参加してよかったとお声を頂き、頑張ったかがありました。二年目はコロナの影響もあり、会の事業が例年より少なく、やはり寂しかったです。青年会の活動では、県内のい

ろんな場所に行けていましたが、その機会が減り、残念な限りです。

柳原会長にはとても助けられました。柳原会長は青年会の経験も長く、事務局がやるべき仕事の一つ一つを気にかけていただけましたので、初めての事務局長でしたが、無事今期を終えることができそうです。

Q. 柳原会長とは、どんな感じでした?

それ記事にして大丈夫な奴?(笑) 年が近いこともあり、私としては良い人間関係が築けていたと思いますが、会長にも聞いてみてください(笑)。

Q. 事務局長の仕事でやりがいを感じることは?

青年会の活動を俯瞰で見ることができました。青年会の活動を通して、先輩方との交流を持つことができ、また、会員の皆さんとも親交を持ったのは、私の財産です。四国地区の役員を兼任していましたが、四国中の方々と交流を持ったのは、とてもよい刺激になりました。

Q. 「令和」の時代になって思うことは?

自分の名前の漢字が含まれているので親しみを感じています。近年は災害も多く、新型コロナウイルスも感染拡大していますが、穏やかで平和になってほしいと願っています。

Q. 青年会をどうお考えにしていますか?

青年会では、とても学びになる事業をたくさん行っています。ぜひ多くの会員の方に、たくさんの方々の事業に参加してほしいです。

Q. 事務局長の仕事で大変なところは?

各種会議等の出席依頼や、全国の青年会

組織からたくさんの方の問い合わせがきます。事務局を預かっているのは、今期のみなので、来期以降の事務局にスムーズに引き継げるように整理整頓していくのが大変です。

Q. 趣味は?

映画はよく観ます。本当は映画館にも観に行きたいのですが、やはりコロナの影響で最近では、動画配信サービスを利用することが多いです。

またドライブも好きです。青年会では各役員さんの地元で役員会を開催していましたが、県内各地、特に初めていく場所は結構楽しみにして行っていました。

Q. 次期会長(事務局長・役員)に何を期待しますか?

会員一人ひとりの顔と名前を知ってもらいたい。多くの会員が出席しやすい会の運営をしてもらいたいです。私も頑張ります。



取材風景

いつもご苦勞様です!

趣味人 第十二回

〜 神青会員のオフタイム 〜



愛媛県神道青年会 副会長
八幡浜市 大元神社
欄 宜 井上 雅仁さん

今回の「趣味人」は、当会副会長の井上雅仁さんに趣味のお話をお伺いします！井上さんといえば、青年会でも屈指の趣味多き男として有名ですが、今回はどんな趣味をご紹介いただけるのでしょうか？ それでは、さっそく井上さんのもりに行ってみましょう！

佐藤… こんにちは。(なにやらカサコンと音がしますが、いったいなんの音でしょう?)
趣味について、お話を聞きに来たのですが、今は何をされているんですか?
井上… おー佐藤くん！これが私の趣味なんです！
井上さんは、そつと手のひらにのせた一輪の薔薇を見せてくれました。
佐藤… 薔薇ですか?
井上… よく見て。薔薇は薔薇でも、これは折り紙の薔薇なんよ。
佐藤… 本当ですか？本物かと思いました！



佐藤… ということは、井上さんの趣味は：井上… そう！折り紙。
佐藤… なんでもまた折り紙を？
井上… 最近コロナ禍であまり外出できないので何かないかなー?と思っていたら、文房具屋さんで、薔薇の折り方のついた折り紙が目にとまって。その薔薇の折り方はもつと簡単なものやっただんやけど、それから、より複雑な折り紙にハマってしまつて。最終的に、この「佐藤ローズ」と呼ばれる折り紙の薔薇に出会いました。折り方教えるけん折ってみなよ。

佐藤… お示し宜しくお願ひ致します！
(〜十五分後〜)
佐藤… すみません。諦めます…
井上… 佐藤くんの佐藤ローズは完成しなかつたね(笑)

佐藤… …(笑)
井上… 折り紙を趣味にしたのは最近ですか？以前は編み物とか、お菓子作りとかの話は聞いたことがありますけど。

井上… 何かを作りに上げるつてことでは、俺の趣味は「ものづくり」
たまたま、最近紙を使った「ものづくり」のひとつとして、折り紙かな。もともと好きで、小さな頃から、よく折り紙はしてたけど、この「佐藤ローズ」にはのめり込んじゃったね。

佐藤… 井上さんにとつての折り紙の魅力とは？
井上… 平な一枚の紙が、折り方次第で、立体的な形になつていくところかな。複雑なものが折れたところで、すごいのは、その折り方を考えた人なん

やけどね。
佐藤… 私からみたら、これが折れるだけで尊敬です。

井上… でも、神職であれば、紙を折ることつて意外に多いんよ。
佐藤… たしかに！紙垂とか、祝詞とか。

井上… 思い起こせば、紙垂を切つたり、折つたり、好き好んで、よく手伝つていました。それが原点かもしれんね。
佐藤… 素朴な質問なんですけど、この薔薇は、どうするんですか？

井上… よくぞ聞いてくれた！俺も、ただ折るだけじゃなくと思つていて、今これを作つてます。



佐藤… おー！これはすごいですね！
井上… いつか、折り紙の薔薇のモザイク画で、浮世絵の赤富士を作ろうと思つてます！

佐藤… いったい、何個の薔薇がいるんでしょう？
井上… でも、井上さんなら、いつかやつてくれそうな気がします。今日はありがとうございました。

みなさんも、心静かに、折り紙はいかがでしょう？

《取材 佐藤 肇国》

それ行け！二足のわらじ

兼職会員インタビュー



File.12
愛媛県神道青年会 会員
松前町・高忍日賣神社
権禰宜 後藤 正明さん
職種 國學院大學祭式講師

今回は、高忍日賣神社後藤正明さんにお話を伺いました。後藤さんは奉務神社でご奉仕をしながら、神職養成学校國學院大學祭式講師も務められています。

—國學院大學教員を目指したきっかけは？
國學院大學神道文化学部四年間は特に祭式に対する強い思いはありませんでしたが、大学院での研究分野が祭祀学ということもあり、祭式教授の推薦により、助手として活動したのが始まりです。助手として大学院で五年間、現在も入れれば十五年近く指導させて頂いております。

—卒業後、学生神職は実家の神社へ帰り奉職したり、全国各地の神社へ奉職する方がほとんどですが、その選択肢はありましたか？
ありませんでした！実家の神社が大好きなので、私は次男で神職になる必要がありませんでした。父の奉仕している姿を見て育ち神社の存在意義を実感して自然と神職になりたいと志すようになりました。昔から高忍日賣神社を中心に考え如何にこの神社の発展に尽くすことが出来るかを考えていたので、他の神社に本務として奉職することはあまり考えませんでした。
—講師として祭式を指導する他に求められていることはありますか？
コロナ禍でなかなか対面指導ができないた

め、インターネットを介しての指導はもちろん、学生の質問や相談などを受けています。対面でなければ伝わらない部分も多いですが、そこを工夫して対応しています。また、祭式だけではなく神職としての心構えや品位、精神などを伝えるよう努力しています。
—授業をする上で指導する立場から、どのようなことに気を付けていましたか？
授業全体の流れを止めないようにしながら、全員が授業についてこられているか気を配っています。総合大学ですので、法学部や文学部、経済学部などの学生も受講しています。年齢も幅広く、神道に対する思いも様々で、個人差がある学生を皆同じように一定のレベルまで到達するように指導することを心がけています。特に私の担当する授業は定員オーバーになるほど非常に多くの学生が受講しています。休憩時間にも質問や相談を受けますが、専門的なことを交えつつ神道の精神を伝えるように努めています。神職として常に人に見られるように恥ずかしくないよう、身だしなみや言動などは慎むように指導しています。

—指導をする上で困ったことは？
神職を志している学生もいれば、興味本位で受講する学生もいて、モチベーションも様々です。学期の途中で授業に来なくなったり、学生を見ると悲しくなりますね。神社って尊い素敵な所だよって全ての学生に如何に理解してもらえたら、伝え方・引きつけ方、伝え方に試行錯誤しています。
—講師をしている上でのやりがいを教えてください。
そうですね。神社って尊い素敵な所だよって全ての学生に如何に理解してもらえたら、伝え方・引きつけ方、伝え方に試行錯誤しています。



—講師をしている上でのやりがいを教えてください。
そうですね。神社って尊い素敵な所だよって全ての学生に如何に理解してもらえたら、伝え方・引きつけ方、伝え方に試行錯誤しています。

初日の授業で不安な表情だった生徒が、月日がたつにつれて生き生きとした表情になって行く姿を見ていると、嬉しい思いでいっぱいになります。



—「後藤先生の授業がいい」「後藤先生だから受けに来ました」と学生から言ってもらったりと、卒業した教え子と話す機会も多々ありまして、一般企業や神社と関係のある企業に就職しましたという報告を受けたり、神社界の第一線で活躍する教え子が増えていたり、その都度やっつけてよかったなと思います。
—指導をする上で大切にしていることは？
青戸波江先生から続く祭式指導の伝統を正しく守っていくことですね。温故知新といわれませんが、師匠が大切にしていたことを守りながら、更なる磨きをかけて次世代に伝えていくという気持ちには非常に大事にしています。

—コロナ禍の中、指導方法や神社運営も大変かと思いますが？
祭式は対面しないとなかなか難しい部分があります。神まつりを第一に、参拝者に丁寧な接すること、その基本はコロナ対策にもつながると思います。古代から日本人は禊や祓を修して清浄を大切にしてきました。その精神に今一度立ち返る機会と捉えて謙虚な姿勢で、神まつりの本義を忘れることなく、神様のため、氏子崇敬者のために頑張りたいですね。

取材 佐藤 肇国

お忙しい中ご協力ありがとうございました！